

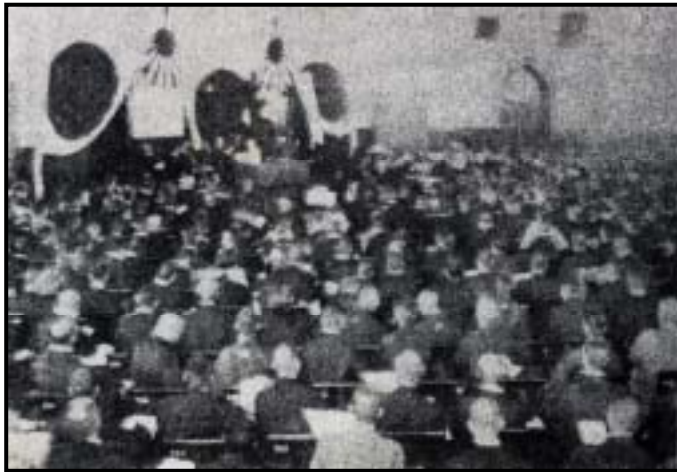
やまもとたきのすけ あしあと たす 青年の父 山本瀧之助の足跡を訪ねて

ぜんこくせいねんたいかい なごや ひら
【12】全国青年大会名古屋で開かれる

1907年(明治40年)沼隈郡青年大会を成功させた瀧之助は、全国の青年たちが一同に集まる大会の開催を望んだ。そのチャンスは意外にも早くやって来た。1912年(明治45年)大博覧会が東京で開かれることが伝えられ、この時、全国青年大会を開催することを構想したが、この博覧会が延期されることになり、大会開催はできなくなった。

ところが、1910年(明治43年)名古屋で関西府県連合共進会が開かれることになり、これに沼隈郡の青年会の活動報告を出品し、同時に青年大会を開催することを沼隈郡青年会役員会で決めた。同じころ、愛知県でも共進会開催に合わせ、全国青年大会を開くことを県青年大会で決めた。まったく偶然にも東西相呼応して全国青年大会を名古屋で開催することを決定しているが、これは沼隈の指導者山本瀧之助と愛知の指導者山崎延吉との間に密接な連絡があったからである。

4月26日に名古屋の本願寺別院を会場に開かれた日本で最初の全国青年大会へは、阿武信一郡



だい かいぜんこくせいねんたいかい ようす
第1回全国青年大会の様子

長を団長に沼隈青年会員412名は松永駅から臨時列車を仕立て、参加した。大会は、山崎延吉の司会で進められ、文部大臣内務次官、県知事の祝辞、阿武郡長のあいさつ、続いて青年団功労者として山本瀧之助の功績を紹介し、感謝の言葉を贈った。この時の様子は、名古屋新聞に「異彩を放てる沼隈郡青年団」の副見出しを付けて報じられている。

しゅびつ うえだ せいし やまもとたきのすけけんきゅうかい
執筆：上田 靖士(山本瀧之助研究会)

緑のカーテン成長記

がつごう しょうかい むまくまししょ みどり
6月号でご紹介した沼隈支所の緑のカーテンが1ヶ月でこんなに大きくなりました！キレイなゴーヤの花も咲きました！



ボ～ノさんのささやき

せんじつ むまくまししょ みなみがわちゅうしゃじょう す お こ
先日、沼隈支所の南側駐車場に、巢から落ちた子ツバメがいました。まだ飛べない子ツバメは、駐車場をうろうろ...雨に濡れ、車に轆かれそう。

さらに、カラスまでやってきました。

しかし、自分より体の大きなカラスに果敢に攻撃する二羽の親ツバメがいました。やはり親は強いですね。

人間も見習うべき姿だったと思います。次の日の午後には、雨も止み、無事ツバメもどこかに旅立って行きました。

